

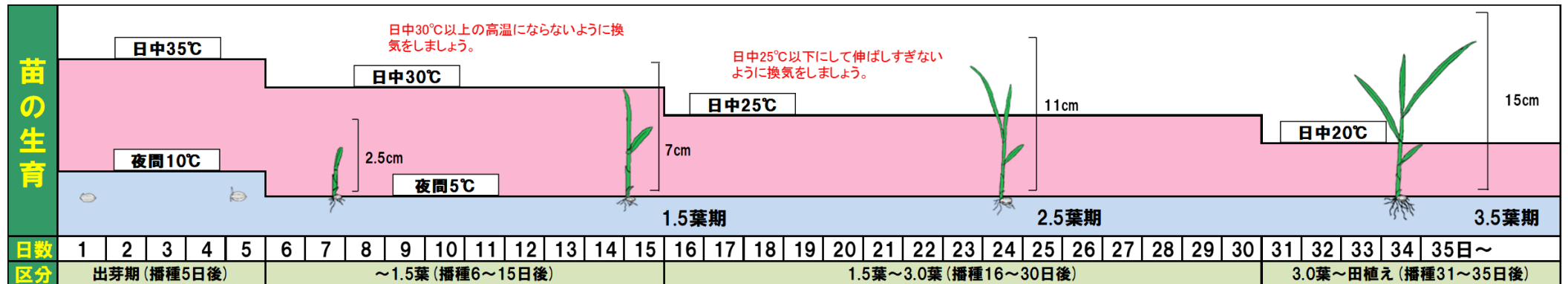
水稲生産情報 4月(第2号)

令和6年4月17日
北地区営農係

高品質で良食味な米づくりに向け、健康な土づくりと健苗育成に努めましょう
育苗中の温度・水管理に気を配り、丈夫な苗作りに努めましょう。
低温時の深水管理ができるよう畦畔のかさ上げや整備・補強を行いましょ

育苗管理

良い苗の条件は・・・根は、太く白い。根数が多い。
葉は、硬く、茎が太い背丈の低い苗（がっちりとした苗）



生育ステージ	温度管理	管理ポイント	苗立枯病対策
出芽期 は種5日後	日中の温度 35℃以下 夜間の温度 10℃以上	●ハウス育苗では、水分保持と保温のためにシルバーポリトウなどで平張り被覆を行いましょ。 ●シルバーポリトウなどの平張り被覆は、8割程度の出芽を確認したら取り除きましょ。 ※被覆期間が長すぎると、ヤケたり、伸びすぎて病気にかかりやすい弱い苗になるので注意しましょ。 ●折衷苗代では、 <u>高温・過湿</u> にならないよう換気と排水対策(溝切り)に努めましょ。	
~1.5葉期 は種6~15日後	日中の温度 30℃前後	●日中は、30℃以上の高温にならないよう積極的に換気を行いましょ。	苗立枯病対策 高温と過湿により発生しやすくなります。 発生した場合、 <u>ナエファインフロアブルの1,000倍液を箱当たり500mlかん注</u> しましょ。 ※青天の霹靂で、すでに粉剤・液剤を使用している場合は使用できません。
1.5~3葉期 は種16~30日後	日中の温度 25℃程度	●2.5葉期前後は生育が不安定になりやすいため、日中25℃以下にし、夜間は5℃以上に管理しましょ。 ●かん水は箱土が乾燥し葉先が巻き始めた頃、朝方にたっぷりかん水しましょ。 ●追肥が必要になった場合は、1箱当たり硫酸5gを500mlの水に溶かして追肥しましょ。 ※追肥後は必ず水洗いしてください。	
3葉期~田植	日中の温度 20℃前後	●霜の降りるとき以外は外気に慣らして、硬く丈夫な苗に育てましょ。 ●田植の5日位前から日中全面開放し、夜間は上部のみを被覆し両裾は開きましょ。	

水管理のポイント

ハウスは乾燥に、苗代は加湿に気をつけよう！
●毎日機械的にかん水すると背丈が伸びる割には葉齢が進まない徒長した軟弱な苗になるので注意しましょ。
●苗代では、床面と育苗箱の密着度を高めるため置床を柔らかくすることが大事です。育苗箱が下に沈むような柔らかすぎる床土では出芽傷害をおこすので、耳たぶくらいの硬さの床面が望ましいです。苗に直接水をかけないようにし、床面が乾燥した時は箱の床面に湛水して、箱に水が浸みたら直ちに水を切りましょ。

土作り

耕起は15cmの深耕とし、作土層を広げ根が深くまで伸びるようにすることにより、窒素が生育後期まで持続的に吸収されます。

施肥量の目安

普通田(乾田)の場合

まっしぐら・はれわたり・・・総窒素成分量9kg(基肥7kg+追肥2kg)

	品名	タイプ	1袋当りの成分			袋数(10a)
			N	P	K	まっしぐら・はれわたり
土壌改良材	混合リン肥新3号(ケイ酸資材)	化成	可溶性ケイ酸26%、k溶性りん酸3%、<溶性苦土3%、アルカリ分39%			5~10袋
基肥	つがるロマン	有機	2.0	3.0	2.0	3.5袋
	有機化成エコ米	有機	2.0	2.4	1.2	3.5袋
	マップ264号	化成	2.4	3.2	2.8	約3袋
	高度化成オール14	化成	2.8	2.8	2.8	2.5袋
全量基肥(一発肥料)	ニューてまいらす	化成	2.0	4.0	2.8	4.5袋
	水稲春一発	化成	2.0	2.0	2.0	4.5袋
	一発あど楽	化成	4.0	3.0	3.0	約2.5袋

★ケイ酸資材の施用で高品質米を目指そう！

ケイ酸は稲体の水分代謝、養分の転流を良好にし、気象の変化に強い稲体にする効果があります。
効果として・・・
病害虫や倒伏に対する抵抗性の向上
茎葉の組織が丈夫になるため、軽減する効果が期待できます。

登熟歩合や食味の向上
葉が直立して受光態勢が良くなり、光合成能力が高まることによって、良食味米の生産に役立ちます。